

令和7年度中高生タウンミーティング懇談録

日時：令和7年8月27日（水） 14:00～16:00

場所：コリドイオ1階 フリースペース内

参加者：市長 ほか 参加者 11名

<懇談録>

○参加者1

自分は将来アメリカに留学したくて、遺伝子研究系を学んで、宇宙食とかにもできる食品を作ってみたいなと思っているんですけど、2050年ほどに人口が100億人を超えるそうで、それをつくばだったり茨城県の農作物を品種改良したりして食糧問題を解決できたらいいなと思っていて、実際に農作物使ってスタートアップやってみたいなと思ってるんですけど、スタートアップにはどんなサポートがあるんですかね。

●市長

お、すごい。スタートアップには色んなサポートがあります。スタートアップパークに行ったことある？ぜひそこに行ってもらうのが。スタートアップという言葉がなかったんですよ、僕が市長になる前は。だからこれは話にならないと思ってスタートアップの推進のための部署をつくりました。それは何をメインにやっているかという、まさにつくばって最先端の研究機関がいろいろある、そこから生まれてくる技術をサービスとか製品の形にするということを目指していて、それがつくばのスタートアップの特徴なんですけどね。ディープテックっていう、深いテクノロジーみたいな、のスタートアップをされていて、いろんな、それはもうすぐに起業できる人もいれば、まだ起業将来してみたいという人、いろんな人達が集まっている場所なので、毎週水曜日にスタートアップパークでいろんなイベントやってるんですよ。必ず何かやってるので。そういうところに行ってみるとそこにうちの職員もいるので、それから投資家の関係の人たちもたまにいたりとか。起業家の話とか色々聞けるので、そこに行ってもらってっていうのが一番良いと思う。それから、今つくばのスタートアップってどんな支援ができるんですかってことに対して、その支援のための特設サイトを作っている途中なんです。なので、これはあとで連絡先教えてもらえれば、ホームページできたら連絡するので。ぜひ覗いてみてもらえるといいかなと思います。本当にゼロからの立ち上げの、まさに今日スタパのお茶会っていう、まさに今日

みたいなのが一番ふらっとただお茶をしながら、皆で話して、そういうところで、いや僕こういうこと考えていてこんなふうな起業したいんです将来は、みたいなこと言ってもらえるだけでもいいかもしれません。どうして食糧問題に興味持ったの？

○参加者 1

自分が結構 DNA 系好きで CNN とか見てたらそういうことが書かれていて、実際に解決とかできたら良いかなと思って。

●市長

もう食料の問題はこれから本当に大きい問題に。それで Future Pineapple Saves the World なわけ？その T シャツは。なんかパイナップルのあれなんですか。

○参加者 1

元々パイナップル系を研究したいと思っていて、今進路変更したんですけど。

●市長

そうなんだ。ぜひ！市内の研究所とか行ってみたりした？

○参加者 1

はい、一応筑波大学とかには行ってみたりとかもしたんですけど。

●市長

そうなんだ。アメリカは何、自分のやりたいような研究が一番できそうな感じ？アメリカのどの辺行きたいの？

○参加者 1

カリフォルニアの UCLA。

●市長

UCLA、良いんじゃないんですかね。そういう風に起業の面でも色々な支援があるんですね、ちょうど少し前もフィンランドで起業のグループにいるつくば出身の子が帰ってきてくれてスタートアップパークでいろんな話をして、そこでまた若者向けの起業のイベントとかやろうなんて話をしてたんで、ちょっとそのスタートアップパークをフォローしてもらえるといろんなつながりも含めて

できると思うんでぜひ御活用ください。ありがとうございます。

○参加者 2

鉄道のことについて聞きたいんですけど TX あるじゃないですか。つくばから土浦に延伸するっていうのがニュースで見たことあって、だいぶ前に候補として、筑波山、水戸、茨城空港、土浦ってあったじゃないですか。それどうして土浦にしたのか。

●市長

大前提の話をすると、あれは茨城県が TX を茨城県の中に延ばしたいという希望を、じゃ延ばすならどっちの方向が良いでしょうねって言って、4 か所の候補地を選んだんですね。つくば市の公式な見解としては、今つくばエクスプレスは、県内ではなくて、東京方面に延ばすということに全力を注いでいます。守谷の市長に会長になってもらって、東京駅に延ばすための会っていうのをこの間作って、今一生懸命動いているんですけども、それ何故かという、東京駅からさらにまた別の地下鉄臨海線っていう構想に絡めて言うと、TX からなんなら羽田空港まで一気にいけるようになったりするわけですよ。それって国際的なネットワークにつながっていくとても大きな話なんですよ。それに対して、県内、なかなか延ばしても。

○参加者 7

費用の成果が得られない。

●市長

おっしゃるとおりですね。言いにくいことを言ってくれてありがとうございます。費用便益って言うんだけれども、莫大なお金を投資しても、人がその分乗らなければただ赤字を垂れ流すわけです。東京駅方面っていうのは国の審議会でもうやりましょうというのが決まっているわけなんです。

○参加者 2

そうなんですね。僕はでも筑波山に延ばして、筑波山へのアクセスを良くしたいなと思ってて、つくば駅からバスに乗り換ええないといけない、その手間が省けると、あとは筑波山の目の前に TX とケーブルカー、対面乗換えができればすごくいいなと思ってて、あとは、羽田空港に延ばすことをおっしゃってましたけど、そこから茨城空港に延ばしたら羽田と茨城空港がアクセスできるわけじ

やないですか。だからそれもいいなって思いました。あとは水戸駅のバスですけど、今は関東で一番発展していると言われていたつくばと県庁所在地の水戸がつながったら僕は最強の都市ができるんじゃないかなと思って。

●市長

そうなんです、つながるのがいいのは間違いないんです。つながったらいいなというのはあるんだけど、そのためのコストがいくらかってのと、それだけ乗るかっていうことを試算しないと、僕らというよりは国の審議会が通らないんですよね。鉄道の認可って国がするものなので、国の審議会でちゃんと鉄道って 30 年から 35 年で黒字化できないといけないって決まりがあるんですね。それがないと鉄道の審議会って通らないんです。

○参加者 2

市とか県がどうと言っても。

●市長

全然駄目で、一応試算はしてあるの。つくば駅から筑波山まで延ばすためにかかるお金で、それを 30 年で黒字化するためには、一日何人乗らなくちゃいけないかっていうのを試算してるんですよ。今つくば駅から大体バスまで行ってる人が、この数字今一瞬出てこない、5,000 人くらい。

○参加者 2

少ないんですか多いんですか。

●市長

筑波山まで TX 延ばしたとして、一日黒字化するために何人乗らなくちゃいけないかっていうと、今 5,000 人なんですけど、僕らの試算では一日 5,000 人じゃなくて 12 万人乗らないと黒字化しないっていう計算なんです。めちゃくちゃ金かかるから鉄道って。という数字でいつも説明してたはずなんですけど、若干この数字も最近話していなかったんで、後でまた確認します。そういうことなので、どうひっくり返っても国の認可が出ないんですね。12 万人ここから行かないじゃないですか、明らかに。筑波山の年間のお客さんって今 200 万人ちょっとなんですよ。筑波山に 1 年間で訪れる人の数って。

○参加者 2

一日に 12 万人？

●市長

一日に 12 万人。やばい数字でしょ。だから、それはもう合わないですよ。

○参加者 2

土浦が一番良いかと。

○参加者 7

水戸に直接つながるとか。

●市長

もしやるなら、水戸まで延ばすとか。ただ茨城空港だって利用者は、茨城空港の利用者、一日僅かですよ。

○参加者 2

筑波山より少ないんですか。

●市長

一日に、何千人とかじゃないですか。分かんないけど。だから、夢としてはいいんだけど、それは誰がお金を出すのって話なんですよ。県がお金を出して、全部赤字覚悟で引いてくれるなら全然良いですよ。だけど、延ばしてそれがね千億円なのかいくらかかるのか分かんないけども、それが誰がお金出すのかなって。そもそもこれは絶対国で認可されないから、このままでは。だったら全然もう別の鉄道にするとか。もう TX じゃなくて。新しい鉄道にするとか。なんならバス、大型にするとか。なんか分かんないけど。もし土浦につなげるんだったらそういうのもあるだろうし、ちょっと今のそういう意味で、土浦までの計画とかっていうのは周りの自治体はとても冷静に見ているというのが本当のところというか。つくばエクスプレスって、一応株式会社なんだけれども、全部自治体がお金出してるんですよ。つくば市も、会社ってのは株式ってのがあってそれを持っているんですね。全部沿線の自治体は持っていて、東京都と埼玉、千葉、茨城県。さらに沿線の数十自治体で持っていて。つくば市も 6.7%くらいの株主なんですけどね。つくば市が我儘言ってるわけじゃなくて、沿線の人たちが、皆東京方面だったら延ばしたいけど、そのこっち方面に延ばしてもつくばエクスプレスの財政状況厳しくなるだけじゃないのと。

○参加者 2

やっぱり茨城よりも北に延ばすよりも、今は東京駅とかに延ばす方が。

●市長

そういうことです。ただそういうことをあんまり言うとなんかこうつくばばかりとかって言われちゃうんだけど、事実として、今東京方面に一生懸命頑張っている中でなかなか茨城に延ばすって言われてもそれ採算絶対取れないよね。そういう採算取れないことを強引にやっちゃうと、結局次の世代ね、皆の世代に借金を残すことになっちゃうので、だから未来の投資って言っちゃうとかっこいいんだけど、でも本当にそのニーズあるんですかということとはちゃんと計算しないとイケなくて、県は計算をして、ニーズありますって計算を出してるんだけど、結構皆冷静に見てますね。

○参加者 2

僕よく自転車に乗って、街の電車好きの人たちとよく電車ごっこをしてるんですけど、ちょうど上に公園通りあるじゃないですか。つくば駅から赤塚公園まで。多分使う人いないでしょうけど、路面電車が あったら良いよねなんて話をしてて、多分それも赤字になるかな。

●市長

路面電車をね、その僕も結構好きなのでやりたいんですよ。

○参加者 2

宇都宮市のライトレールとか、あれみたいなのが。乗ってはいないです。

●市長

僕は乗りに行ったんだけど、あれも黒字化達成といってるけど、300 億、何十億かかっているんですよ。だから赤字なんです。もちろん赤字なんです建設費まで見たら。建設費を無視すればよい、つくばでもしやって可能性があるのは、このつくば駅から筑波大学までのところだったら、なんとかひよっとしたら、100 億くらいでできて。

○参加者 2

図書館とかエキスポセンターの方に駅作ったら僕も便利だと思うんですけど。

●市長

ただ歩けちゃう。つくば駅から図書館まで歩けちゃうじゃんみたいな。

○参加者 2

すぐそこですもんね。

●市長

そう。だから、だったら自動運転バスとかの方がよっぽどね、これからはもう自動運転バスが、日本はなかなか遅いけれども。

○参加者 2

ひろゆきさんの動画でも話されてて、僕もこういう自動運転のやつとかが便利に発展していけば良いなと思っています。

●市長

今年からね、つくば駅から筑波大学までの自動運転のバスはちょっと色々実証してますんで、ぜひみんなも乗れるタイミングあると思うんだけど。全国で自動運転のバスってやってるんですよ。だけど、皆赤字を垂れ流しているんですよ。特別なそのための路線をつくったり、っていうことをやっているから。でも僕はそれじゃ意味がないと思っていて、自動運転のための自動運転じゃなくて、今ニーズがある街中のバスを自動運転にしていかなないとなんの問題も解決しない。だからつくばではそのつくば駅から筑波大学までのところを、本当にそういうのをリアルワールドっていうんですけれどもね、本物の環境で動かす、自動運転バスのために何か整備をするんじゃなくてバス側のシステムをちゃんと使ってそういうものをつくっていかうということをやっているんで。そういうのもスーパーシティの中の、さっき言った挑戦の一つですね。

○参加者 2

最後にもう一つ。この自習室、僕いつも自転車で来てるんですけど。駐輪場がなく、有料の2時間、3時間無料っていうのがあるんですけど、なんか自習しに来た人だけ無料になる駐輪場みたいなのがあればいいなと思ってて。

●市長

そうだね、自転車利用を促してるからね。そうしたらいつもどうしてるの？

○参加者 2

ここに停めて3時間経ったら向こうに。引いて戻すのはいけないって書いてあるんでここに停めてあっち行ったりこっち行ったり。だから学割といいます

か、自習してきた人には無料ですよとか、駐輪場がここにあればいいなと思っています。

●市長

そうだね、自転車に来てねって言ってるんだからね。ちょっと今の駐輪場の支払いのシステムだと多分割引券とかが出せない気がするんだけど、今コイン？

○参加者 2

コイン、まあお金を払って。

●市長

払うときはね。払わないように動かしてるんだもんね。そうだね。番号入れてお金を払うでしょ？払わなくちゃいけないときは。で、2時間だったら大丈夫だけどっていう。ちょっとどんなことが可能かはね、考えてみたいですね。無料の駐輪場、ちょっと今この辺月極とかが多くなっちゃってるから、駐輪場がそもそももっとあっていいんだよね。

○参加者 2

大清水公園のカピオの前の、昔自転車めっちゃ並んでたんですけど、今三角コーンで停めるなって書いてある。

○参加者 6

一応奥に。

○参加者 2

あ、奥にあるんですか。あそこ今がっちゃんするやつがあれば良いなと思っています。

●市長

ちょっと全体見てみますね。どういうところが置けるかとかね。確かにそうですね。結局動かしてんだもんね、そうやってね。2時間経ったらとかね。分かりました、ありがとうございます。

○参加者 2

貴重なお話ありがとうございました。僕勉強するので失礼します。

○参加者 3

SNS 教育について質問がありまして、私は小学校・中学校と茨城県の市立小学校・中学校と卒業してるんですけども、小学校 4 年生くらいの頃から、外部の方を招いて SNS に関しての教育がすごい増えたなと思っていて、小学校 5 年生になってコロナがあって、そこからオンラインでのあれが増えたんですけど、そういう SNS 教育っていうのは、市で主導してやっているものなののでしょうか。

●市長

市として、これ国の方針でもやっぱりそういうのやんなくちゃ駄目だよねってすごく言われてるし当然そうだと思うので、結構学校ごとに内容が同じではないけれども、市としてもしっかりそこは力を入れてやっていることではありますね。

○参加者 3

そのお話を聞いてて、すごく感じたのが、SNS とかスマホに関しての使い方に対して、こういうことが悪くてこういうトラブルが起きててこういう君たちにリスクが起こるんだよという、すごく悪いイメージを押し付けられているような感覚をすごく小学校中学校で感じていて、実際高校になってから情報って科目が入って、今共通テストにも情報が入っていて、すごく学校自体、情報っていう教科に力を入れているんですが、授業数も少し多くて、勉強しているときに、インターネットってこういう風にできていて、こういう風な国際的に交わることができるんだよという、インターネットの根本的なシステムってのが、高校で本格的に習ったという印象があって、なんでそれを小学生の頃とか中学生の頃から、そういう根本的な教育っていうのを、こういうふうにインターネット・SNS はできてから、危険なんだよっていう、危険なところだけじゃなくて、こういうシステムでこういうふうに世界が動いて、こういうふうに SNS があるから危険なんだよっていうのと、もう一つは正しい扱い方っていうのを少し、悪いイメージよりも、こういう扱い方が正しくてこう接していくべきなんだよっていうのを強く教えて欲しいかなっていう思いがあります。さっき愛知県の 2 時間ってお話もありましたけど、全てを駄目、禁止、使っちゃいけないっていうんじゃないかなって、こういう扱い方をしていけばこういうふうにメリットが生まれるんじゃないかなっていう考えをもう少し小学生・中学校の頃から外部の方もそうですし、あと学校の先生もこういう取組は初めてだみたいなふうに結構授業前に話しているときも多くて、何年も小学校で何年生も先生やってるけどこんなの

初めてだよって結構言ってる。

●市長

どういう内容なの、それは。

○参加者 3

道徳で NHK プラスですかね、なんかの動画で、子役の子が出てきて SNS でこういう発言したらこういうふうに広まってこういうふうに拡散されちゃったみたいな、そういうデメリット・トラブルみたいなことにすごくフォーカスを当てた動画が多くて、そういうのを 1 時間観て、どう思ったって言われて、感想書いて、はい授業終了って言われて、学校の先生何も言わないし、動画観てとりあえずは、すごくなにかヤバいなって気持ちだけ思ったんで、すごくそういう感想いっぱい書いた記憶があるんですけど、もうちょっとこういうふうに扱ってたらいいんじゃないかみたいな解決案じゃないですけど、こういう道もあるよみたいな、そういう SNS の使い方を、多分そうやって国の皆さん考えていらっしゃるんだと思うんですけど、そういうのを入れていって欲しいなと思いました。

●市長

ありがとうございます。それ大事な視点だし、SNS の話とインターネットの話とそれから ICT 全般の話と、多分何段階に分かれるかなって思うんだけど、例えば皆に今 1 人 1 台端末がありますよね、なんて呼んでるか分からないけれども、PC が小中学生に配られていて、その時もやっぱりいろんな議論があったんですよ。そんなのやったら子供が動画ばかり観ちゃうじゃないかみたいな話があって、そういう時に僕らはそれで一律駄目っていうのはおかしいんじゃないのって話をして、ちょっとその頃にいたか、いなかったか分からないけれども教育大綱の「管理から自己決定へ」っていうので、学校で PC の 1 人 1 台の端末の使い方は子供たちが決めようってなったんですよ。その時はいた？いなかった？学校に。市内の公立中？小学校だっけ、中学校もだったと思うな。

○参加者 4

ありました。自分は小中一貫のみどりの学園に通ってたんで、その時は、自由に使えてました。

●市長

そう。大事なことは、大人がこれが良いとかこれは駄目とか言うんじゃないくて、皆が考えてメリット・デメリットを考えて、皆でルールを作ったら良いじゃんっ

という話をして、ルールメイキングって言うんですね。それは他の校則とかでも同じことで、勝手に大人が決めるんじゃないくて、皆がメリット・デメリット考えて、話し合いをしていこうという話をしたので、まずそういう側面があると思います。その上で、本当にインターネットは便利、便利というかなくてならないものだし、それによっていろんな可能性が広がるものなのは間違いないけれども、ちょっとその講師の先生がどんな教え方をしているか分からないけれども、確かに言われてみればね、怖い部分を強調しているだろうなというのはあると思います。同時に僕のところまで入ってくるようなトラブルの案件っていうのは、SNS とかに始まるトラブルとかも結構あるなということもあるので、それがやっぱり取扱いによってとてつもなく危険なものになるんだよということを知っておいてもらう必要があると思います。ただ、言うように、別にただ怖いだけのものじゃないよっていう、使い方によっていろんなつながりができるし便利なものだし、ということも、だから前提としてそれは省いちゃっているのかもしれないね。ちょっとどういう教育をしてるのか、僕も確認してみたいと思います教育局に。実際これがあることによって世界につながる人がたくさんいるわけだから、僕が子供の頃とは全く違うつながり方が皆はもうできるわけだから。ありがとうございます。すごく大事な視点だと思います。僕はとにかく勝手にダメダメ言うのはやめようと常に思ってます。

○参加者 4

今行っている研究学園の自動車に関する研究とかの、その前に今開発されている、開発に関する事なんですけど、市にどのように関与しているのか、そういった開発は TX とかに言って、そういった開発が行われていますので、そこに市とかその他の企業がどのように関わっているのかを知りたいです。

●市長

あそこですね、この間大和ハウスが買ったところのことですね。その研究学園があって自動車研究所があって、その東側の広いところですね、今工事しているね。ちょっと何のことか分からない人もいるかもしれないけれども、こういう時にパッと映ればいいんだけど、27 ヘクタールくらいの土地が、東京ドーム3個分くらいの土地が、今民間企業が買ってそこに新たに、今はもう野っぱらになっているんだけど、草原地帯のところになんか新たな街をつくるという計画が進んでいます。何をするかというと、そもそもあの土地は自動車研究所が持っていた土地なんです。だから市の土地ではないんですね。ただ街からしたら大事な場所なので、市から要望はしました。聞いてくれるかは別だけど。ただのマンション群にしないで欲しい、それから物流倉庫はあのエリアにはもう十分あるから物

流倉庫なんかにもしないで欲しい、ちゃんと持続可能な地域につながるようにして欲しい、といういろいろ注文をつけました。それなりに聞いてくれて、結局今あそこはマンションも建つんだけど、一番あそこの開発でインパクトが大きいのは、茗溪学園がああ場所に移転をすることになりました。茗溪学園は今、もうちょっと南の方のね、ここからバスでいうと15分くらいかな、20分くらいかな、の場所にあるんだけど、かなり思い切って今の在校生が卒業する2029年頃には移ってくる予定です。そうすると随分景色が変わりますよね。僕らは茗溪が移ることは一つポジティブに捉えています。それは間違いなくTXが影響していて、茗溪学園としても、駅前のアクセスが良いところだったらそれこそTX沿線の子達が通える場なので、一気に通える子たちの割合が増えるだろうということで、茗溪学園は当然私立ですから、経営のことを考えなくちゃいけないので、そういった意味で思い切った判断をしたなと思っていますけども、そういうことが進んでいます。市としては、今気にしているのは渋滞のことで、あそこもともと結構車が多い中で、大規模なマンションができると、朝晩、特に朝なんかは時間が集中するので、ちょっと渋滞が大丈夫かなというのは気にしているので、そういうことはもちろん話しながらできるだけ渋滞しないような動かし方をして欲しい、という話はしていますけども、いろいろ市の話聞いてくれて、教育施設なんかをちゃんと入れてくれたりしたのは良かったなあとは思ってはいます。良いですか？なんか他に気になることがあれば。

○参加者4

他には、自分みどりのに住んでまして、その近くにある谷田部の方が気になっていて、そっちの方にたまに行く、そういった際に、商店街があったんですが、ちょっと寂しい感じがしていて、やっぱりこの前ひろゆきさんとの動画の方で、地区ごとくにぎわいを生み出すと言っていて、谷田部だとどのような。

●市長

谷田部だとまさにあのエリアでやっています。商店街確かにかなり厳しい状況なので谷田部の場合は、地域の皆さんが飯塚伊賀七という、つくばの天才発明家がいるんですけど、聞いたことありますか？飯塚伊賀七。なかなか知らないですよ。日本のレオナルドダヴィンチと言われて、それちょっと言いすぎじゃないかとも思っちゃうんだけど、天才発明家がいた、その人をモチーフにしたいろんな活動を行ってたりするんですけど、ちょっとした芝居小屋みたいなもの作ったりしていて、そこで新しい動きが生まれ始めてはいるんですけど、今つくば市としてあのエリアに15分都市の考え方としてやっていることは、谷田部小学校という小学校があるんですね、これも150年になるんですけど、相当古いと。皆

の学校は多分違うと思うんだけど、谷田部小学校は廊下がない、ベランダで通っていく、信じられないけど、昔そういうのが流行りだった。で、建て増し建て増しで、もうめっちゃくちゃだから、長寿命化工事というのをやるよりも、新しく建て直した方が長期的にはコストが安いんじゃないかと言って、そのまに見てくれた谷田部の商店街の近くって大きな市民ホールがあるんですね。それから、市民の体育館ってのがあるんですよ。でも市民ホールも築何十年も経っていて、あまりにも古すぎて、これももう長寿命化工事ってできないんです。体育館は、長寿命化工事はできるんだけど、でもボロボロでかなりヤバいということを考えたときに、市民ホールを壊して建て直すと、40億50億かかっちゃうんですね平気で。そんな金はない。体育館だってゼロからつくり直す金はない。だから、小学校を新しく建てるんですねこれから、小学校を谷田部地区の拠点にしようと思っていて、小学校の体育館なんだけど、通常の体育館よりはちょっと大きくつくって、市民も使えるような体育館にして、授業をやっているときももう少し使えるスペースを作って、さらに市民ホールの機能も出せるように移動式の椅子をそこに用意して、市民ホールとしても使えるような学校も複合化しようということを今進めています。今そこに他のいろんな会議機能とかちょっとした窓口のようなものなどをやることによって、谷田部の、まさに街のど真ん中にちゃんと人を連れてこられるような人の流れを作ろうと。そうすればもうちょっとは商店街もなんとかかなるかもしれないとは思っています。商店街は商店街でそもそもなかなか今の商売のスタイルとして厳しいところがあるんですけど、でも谷田部の15分都市の概念としては、小学校を中心に、地域といろんな意見交換しながら、多分全国的にも、ホールと体育館とを市民と共有して学校建てるなんて事例は多分、全部調べてないから分かんないですけども、ほとんどないと思うんで、そんなチャレンジを谷田部ではやっています。大丈夫ですか。

○参加者 5

公共施設に、特にゆかりの森のことについて調べていて、実際に話を聞きに行ったりしたんですけど、老朽化に特に困っているという話をされていて、こちら辺一帯の公共施設の老朽化、結構問題になっていると聞いたので、公共施設の老朽化について、何か対策とか考えてらっしゃるんですか。

●市長

ちょうど街ができた頃に建てられた建物がたくさんあるわけですよ、さっきつくば市40周年と言いましたが、その前の町や村の時代とかにつくった建物がたくさんあるんですよ。ので、どえらい問題です。ちょっと数字まずお話を

すると、公共施設ってのはね、こういう建物も、これ公共施設だけでも道路とか下水道とかのインフラも維持管理しなくちゃいけないんですよ。そういうのを今後40年間大規模改修したり、維持管理しながらやっていくと、いくらお金がかかるだろうかってちゃんと調べたんですね。40年間で9,900億円かかるんですよ。意味分かりますか？9,900億円、1兆円ですね。それくらいやばい状況なんです。だからこそさっき言ったように、そこまでの建物をこのまま全部残すことってというのは、財政的には本当に無理だと。けど、じゃお金がないから全部潰して良いかっていうと、それも決してそんなことないんですよ。ので、市民ホールだって今1000人入れるホールなんですよ谷田部。でもちゃんとデータを見たら、1年間で1000人入る時なんて年に1回しかないわけですよ。しかも民間の人がやっているコンサートなど。あとは、せいぜい2、300人いれば十分なサイズなんです。だから学校に合わせてそういうふうにすることによって、コストを最小限に押さえながら、でも市民のニーズをなんとか満たせるようにというような工夫はすごくいろいろな形でしています。例えば僕が市長になってから設計した学校、研究学園であったり、みどりの学園は僕が市長になる前に設計されたんだけど、みどりの南というところとか、研究学園とか香取台とか、ってのは僕が市長になってから設計したんですけど、そういったところは全部最初から、音楽室とか図書室とか1階に置いて、基本的には。週末は地域の人が使えるように、そうじゃないと、もう稼働をできる限りさせていろんな機能を複合的に持たせないと、全部別々につくるのは無理だということが、公共施設の基本的な考え方にあります。ゆかりの森は老朽化といえれば確かに老朽化なんですけども、ちょっと性質が違って、あかまつって分かりますか？宿舎。例えばあそこの和室っていうのを今工事をしていて、今、すごい昭和って時代が昔あったんですけど、その昭和の香りそのままの和室があってなかなか使い勝手が良くなかったんで、ちゃんとリノベーションして工事をして、もうちょっと皆が使いやすいような場所に変えていくことなんかをやったり、それから、もし行ってくれたなら分かっていると思うけど、ゆかりの森の美術館というのを、新たに地域の人に寄付してもらってそこにお金をかけてリニューアルをして、今もちょうど美術展をやっているんだけど、そういうふうにして。それから今度やろうと思っているのは、森だし木もたくさんあって、つくば市も森とか木の活用を考えているので、木工室というのがあるんですけど、そこがあんまり使われていないただの荷物置きみたいなものになっちゃってるんで、そこをちゃんとリニューアルして皆さんが木工とか工作とかをしたいときの比較的本格的な機械なんかも入れたりして、使えるようにしていったり、それからウッドデッキを張り直したりは、腐ってるところとかは大体終わったんですけども、なんていうようなことと、あとは古いきのこ型の泊まるところとかも順次壊れているところは直してやってるな

んてやってますけども、確かに古くなってますけども、あそこはなかなか複合というスタイルのものではない、大きなハコが一つあるわけではないので、できるだけ有効活用して昆虫館なんかも結構面白い昆虫館なので、ただ専門家がないので、これも今度国の研究機関にアドバイスをしてくれる研究者の派遣をお願いしようかなと思ってます。大丈夫？キャンプ場もね、なかなか良い場所だね。人気はあるんですけどね。安いし。

○参加者 5

ありがとうございました。

○参加者 6

ちょっとふわとした質問にはなっちゃうんですけど、先ほど話されていた青のカフェとむすびつくばに関してはすごく関心がありまして、青のカフェでは先日ドキュメンタリー映画を製作するために、取材に伺わせていただいたりとか。

●市長

映画を作っているの？

○参加者 6

そうです。自主制作で作ったりとか、むすびつくばに関しては、教材開発のボランティアをこの前応募して、理事長の方と直接お話をして、受かりまして、むすびつくばの教材開発を広報してほしいと、ボランティアで引き受けさせていただいているんですけど、青のカフェにしろ、むすびつくばにしろ、いろいろ、私も守谷市なんで全然つくば市のこと存じ上げないですけど、こういう、受け皿じゃないですけど、相談に乗ってくれたりとか憩いの場として知られても、もうちょっと広報して知られても良いのかなって思ってたして、私自身もメディア系とか広報することにすごく関心を持っているので、ぜひつくば市の公共施設、このプロジェクトにないにしろ、どんどん広報していきたいと思ってるんですけど、やっぱり自分と立場が違う方を広報するのって、意外と誤解を招いたりとか、それこそちょっと、ん？という感じの疑問を招いてしまう根源にもなると思っていて、理事長の方とお話をさせていただいて気付いたのは、やっぱり教材開発って不登校の方とか学習障害がある方に向けての教材開発なんですね。私は小さいころから英語を習っていたので、そういうどうやったら教材もっと上手くなるんだろうとか、どうやったらこの取組って広がるんだろうって試行錯誤しながら考えているんですけども、やっぱり思いつかないんですね。全然分かん

ないですし、私も学習障害持ってるわけではないので、その辺の広報の仕方とか、市としてもっとつくばのこういった青のカフェとかむすびつくばがどういった場所になって欲しいのかというビジョンをもう少し詳しくお話いただけないかなと。

●市長

いやもうね、そこが悩みなんですよ。要するに、いろんなサービスはやってるんだけど、あるいはいろんな場所は用意してるんだけど、必要な人にそれをどう届けられるかっていうのが本当に大きな課題なんですよ。だから、さっきひろゆきの番組出たっていうのも、結局発信力をまず増していくしかないのかなということはちょっと思っていて、そういう思いで今まで断っていた出演をこれから出るようにすることにはしたんですね。それはやっぱりね、あの動画を見て僕のこと知ってくれたりした人もいて、そしてつくばで取り組んでいることを知ってくれたりする人もいたりするんで、個人の発信者としても、影響力を増さなくちゃいけないなという問題意識のもと、僕も最近、ちょこちょこやってはいます。ただ僕らだけでは限界があるので、やっぱり行政からの発信って面白くないじゃないですか、固いし。実はね、今度、多分つくば市のインスタでは一番フォロワー数が多いグループに少し、青のカフェの宣伝とかを入れてもらおうかなと思っていて、結局僕らの世代だと Facebook とかやってるんですけど、そんなのはおじさんお婆さんの SNS じゃないですか。皆さんだと今何が多いのか分からないけれども。

○参加者 6

TikTok とか Instagram が主ですね。

●市長

だから、そういうところでフォロワー数が多い人たちの力を借りて青のカフェなんかを例えば宣伝をしていくとかってのはやりたいなと思っていたり、そういう広報のも、市だけでは限界があるなって正直思っています、やっぱり一番いいのは口コミというか、皆がいろいろ言ってくれたり発信してくれたりするのがいいと思うし、それはさっきの話じゃないけど、たぶん SNS の良い面で、ここに行ったらすごく良かったみたいな、友達が言ってるならみたいなことになっていったりすると、青のカフェはなかなか行ってきて良かったとかって書きづらい場所かもしれないけども、でももっとフラッと行ける場所にしたいなって思っています。ぜひむしろ若い世代の皆さんにどんどん発信を、多分 1 個で解決する問題ってないので、PR してもらえれば嬉しいなと思っています。

○参加者 6

はい、頑張ります。ありがとうございます。

○参加者 7

初歩的な質問になっちゃうんですけど、市長になってから大変だなとかって感じることもあるんですか。

●市長

良い質問ですね。まあまあ市長って忙しいんですよ。やりがいもすごくあるんだけど、物理的にやっぱり大変だなってことはすごくあって、例えば災害対応、台風とか来ると、基本ずっと対応しなくちゃいけないとか、新型コロナの時なんかだと、全く誰も分からないじゃないですか、新しいこと。そういうのに対応を、もう何の正解もない中、選んでいかになくちゃいけないなっていう、危機管理の対応というのは、非常に責任の重い仕事なので、そこはなかなか痺れる仕事です。ただ、幸いにしてつくばのコロナの対応とかは、皆がどれくらいの年齢だったか分からないけど、例えば全国で一斉休校っていうのが国から言われたんだけど、つくば市はそれをあえてしないで学校に行けるようにして、給食も食べられるようにしたとかって言って、国の国会でも紹介されたりとかして、比較的コロナ対応とかでも評価をしてもらったのかなと思っています。まあまあ日々削られる仕事ではありました。大変な、大変というかね、休みがもうちょっとあるといいなっていうのは。こういうこと言っちゃうとあれなんだけど、夏休みに、何年も前なんですけど夏休みに、子供にキャンプに行きたいって言われたんですよ。キャンプいいね！って、子供が行きたいって言うから、行こう行こういいよいいよって言って、秘書課の職員に相談したんですね。あちらにいる方なんですけど、お子さんがキャンプ行こうなんて言ってくれたんですか、素晴らしいですね！任せてください！って言って、一泊二日どこか取れますか？もちろん取れますよ！って夏休みの相談したら、12月の23日と24日押さえます！って言って。夏休みなんですけど今、ちょっと時期ずれてませんか？って。まあそういう仕事ですね。ただ最近ちょっとね、僕ももう2回入院してて、過労で。市長になってから。とても心配してくれてね、優しく、スケジュールを。最近は前よりも人間的な生活をしているかなと。体力的にはまあまあ、はい。それくらい、一泊二日の予定を押さえるのが大変なくらい仕事はたくさんあるかな。医者に怒られました。「いい加減にしないと死ぬぞ」って。「仕事しすぎはだめだぞ」っていう

のは言われましたけど。でもやりがいがあります。

○参加者 7

それは今までの話聞いていてなんとなく。

●市長

あ、ほんと？誰に頼まれてやってるわけでもないのにね。自分で選んでやってる仕事だし、やりたいこともやらなくちゃいけないこともたくさんあると思ってるから、誰かの操り人形でも何でもないので、自分で考えて動いて行って、結果としてね。いろんな形で市民の人が喜んでくれるっていうのは、めちゃくちゃやりがいがあります。あとはもうちょっと休みを。ありがとうございます。

●市長

どうですか、何かもしあれば、まだ、せっかく来てくれたので。全然聞くだけでもいいんですけど。はい。

○参加者 8

今の自分と関係ないんですけど、つくば市って茨城で今一番高齢化率が低いじゃないですか。

●市長

うーんとね、一番か、二番かちょっと、守谷とかつくばみらいも結構低いので。

○参加者 8

それなんでなんだろうって率直に疑問に思っ。一番高齢化率が低い理由ってのは何なんですか。

●市長

つくばエクスプレスで若い世代が移ってきてるからですね。結局駅前に、今子育て世代がどんどん入ってくるわけですね、その人たちが、また新しい子供が生まれたりするので、どんどん若くなるんですよ。だから、つくば市の高齢化率、一番新しい数字だと、まあちょっと前まで 19.5%とかだったんですけど、これ全国平均でいうと 30%近いので、相当低いですよ。この辺も 10%とかで、つくばエクスプレスのみどりのとかだと、多分高齢化率 3%とか 4%ぐらいかもしれない、5%くらいかな。すごく、やっぱり駅前なんかは劇的に低いです。の

で、これはもうつくばエクスプレスの影響だと思いますね。はい、ありがとうございます。ちょっと何番目だろう今ちょっと調べておきますね。

○参加者 9

私があつたらいいなと思っているんですけど、私が住んでる万博記念公園地区、香取台地区にあんまりこんな実習室がないので、こんな感じの涼める自習室が欲しいなと思って。

●市長

そうですね。おっしゃるとおりですね。今、どんなものが可能性があるかどうか、みたいなことは、市でも考えています。今ないですね。ちょっとお待ちください。

○参加者 9

ありがとうございます。

○参加者 10

高校進学をちょっと考えていて、まあつくば市とは関係ないかもしれないんですけど、どういう経緯で土浦一高を決めたのかとちょっと聞かせていただきたいって。

●市長

高校は、やりたいことがあるなら、やりたい分野のある高校に行った方がいいと思っているんです。あと僕、工業高校とか商業高校とかって、これからめっちゃくちや社会の中では重宝されるだろうなと思っています。僕がなんで土浦一校行ったかっていうと、まあまあ当時土浦一高もサッカーが強くて、兄も行ってたし、ちょっとそういう流れで、そんなに深く考えて行ったわけではなかったです。だから、選択肢として、自分が選べる中でやりたいことがあるんだったら、それに特化したところに行くってのはすごくいいと思うし、でも、特に何かこれっていうのがなければ、どこに行ってもいいんじゃないかなって、自分が行けるところに行ってから考えるのもありだろうなと思うし、子供4人いるんですけど、今、もう上2人は、一番上大学生で、二番目高二で、まだ三番目四番目は中小なんですけど、本当にどこでもいいよっていう、行きたいところがあるなら行けばいいけど、別にやりたいことがないなら、とりあえず近場の、どこでもいいから行って

おくのも1つだし、高校行かないっていう選択肢も全然あるよっていうようなことを、結構話してはいるんです。結果として、高校に通ってるけれども、1人はもう卓球がやりたいんだと。だから、卓球ができるところに行く。1人は別に何も特に何もないから、まあとりあえず行けるところ行っとくみたいな感じの発想で。高校の頃にそんなね、やりたいこと決められるのも大変、中三でね、そんな絞れないと思う。どんなふうに悩んでるの？

○参加者 10

夏休みも学校見学とか行ったんですけど、あんまいいところないなって。

●市長

そうね。何かそういう中で、でも高校は行っとかないとなってしまうのがあるのであれば、いろいろ行った中でも、まだここならちょっと行ってみたいかなとか。あとは、もし知り合いとかがいたら、その先輩とかに聞いてみるのもいいかもしれないけどね。そういう話は聞いてみた？みんな、いやうちつまんないよとか言ってた？

○参加者 10

あんま話してはいないんですけど。

●市長

うんそうかそうか。部活とかは？

○参加者 10

バスケット部。

●市長

でも別にバスケットをガチでやりたいってわけでも。

○参加者 10

やりたいとは思っているけど、どこでやりたいとかは。

●市長

なんか、多分選択の軸って1つじゃないので、そういうこととかね、あと通える距離感とか、なんか総合的に、自分なりに選んでいって、多分ね、僕自身そうだったけど、すごく行きたい高校とかがあって、あんまりないんじゃないかな、正

直。ただ行ってみると楽しいこともあるし、新しい出会いもあるし、逆にね、S校みたいな新しい概念の学校もあって、S校って聞いたことある？ちょっと簡単に説明してもらって。手短に。

○参加者 6

通信制高校でN校、S校、R校が最近できたんですけど、システムは変わってなくて。要は、通信制高校なんですけど、普通、別の通信制高校さんとちょっと違って、例えば、私たちは、通学コースっていう、すぐそのクレオにキャンパスがあって、そこで週3だけやってるんですけど、その授業がめっちゃめっちゃ面白くて、例えば、私は、花王さん、花王っていう企業さんがいるんですけど、

●市長

石鹼とかの花王。

○参加者 6

そうですそうです。日用品とか、生活用品の花王さんと連携した授業で、高校生のヘルスケア商品を開発してみようという授業があったんですね。そこで私達みたいな通学コースとして通っている子が、その授業を自分たちで自由に履修して、なんて言うんですかね、学びたいものを学べる。一番売りにしてるところが、普通の全日制高校とはまた違う、社会的なこととか実践的なことも、学べます。あとは部活動の話になるんですけど、政治部と投資部と企業部とか、いろいろ、なんて言うんですかね、社会に突出した、部活がたくさんあって私は投資部に所属してるんですけど、村上財団っていう財団さんがいて、実際の投資家から学んだりとか、様々なプロの方から直々に学べるっていうところもすごく魅力なので、ぜひ。

●市長

オッケー、ありがとう。そうなのよ。なんか高校の概念と違うし、今から10数年ぐらい前までは、S校が生まれる前までは通信制の高校っていうのはなんかすごく選択肢に入りにくかったんだけど、S校っていう存在ができて、普通に、公立高校とか私立高校の選択肢の1つに今、S校っていう、N校S校というのができてきて、それだけ社会もね、多様化してるし、どちらかというと今まで通信制高校って、学校行きづらい子が行くっていうふうになったりする、別にそういう子ももちろん行けるんだけど、もっと自由にいろいろやりたいから、S校を選ぶっていう、生徒もたくさんいたりする。1回ホームページとか覗いてみても面白いかもしれないね。何か引っかけるところ、別にS校じゃなくてもいい

いと思うんだけど、そういう中で、選んでいくっていうことかな。行かないで働いてみるってのも結構面白いと思うんだけどね。僕結構子供にそれを促したんだけど、一回行かないでちょっと働いてみても楽しいんじゃないのって言ったんだけど、とりあえず行っとくわって行っちゃった。行っちゃったっていうのかな、行ってるけどね。本当に今、いろんな選択肢はあるから、たくさん見てみると、面白いかもしれない。あとはもう学校見学行って、学校の雰囲気を決めるとかね。何か所か。なんかいい場所が見つかるといいね。

○参加者 11

学校の S ルーム通っているんですけど、全然何もなくて、ただ先生と話すくらいしかやることなく、ちょっとなんかあるといいな。

●市長

どんなものがやりたい？どんなものがあるといい？

○参加者 11

実験できるようなのとか、特別授業みたいなものをやってくれたら。

●市長

なるほどね、そうか。だから今は、行って過ごしはしてるけど、ちょっと何か勉強とかも少しはしてるのかな。だけど、自習みたいな感じになっちゃうイメージ？確かにそうだね。

○参加者 5

私も学園の森の中学校に通っていた時に S ルームに通っていたことがあって、うちではボードゲームが結構たくさん置いてあって、そこにいる子たちみんなで遊んだり、あとは、独自の調理実習も、事業を計画して、クッキーを作ったり、食べたり、そういうのがあったら楽しいんじゃないかなと。

●市長

なんかそういうプログラムがあんまりないんだ？

○参加者 11

ボードゲームとかも何もない。

●市長

ボードゲームもないの？そうなんだ、ちょっと、それは何かイメージ違うな。
二部屋ある？

○参加者 11

いや、今年何か所かできたらしいんですけど。

●市長

そう、できるだけ二部屋にして、自習したい子と自由に過ごしたい子と、行けるようにしたんだけど、そっか、ちょっと確認してみるね。連絡先はわかるよね、きつとね。ちょっとまた連絡させてもらおうわ。何もないのは良くないね。退屈しちゃうよね。それはね。実習とかやってたんだ。

○参加者 5

はい、そうです。

●市長

それは自分たちで企画したの？その、誰かがなんかやってみない？って。

○参加者 5

割となんか、そこにいる生徒の子たちがこういうことしたいよねっていうのを話し合って、それを先生が実現して。

●市長

なるほどね、そういう場所であってほしいよね。そう。別にただ黙って過ごすだけじゃないと思うので、過ごし方も。ありがとう教えてくれて。ちょっと充実できるように、頑張ります。ありがとうございます。

○参加者 1

ちょっとしょうもないことなんですけど。

●市長

全然しょうもないことなんてないよ。

○参加者 1

つくチャリってあるじゃないですか。あれの場所がちょっと少なくて、結構自分も使いたいなと思っていて。ちゃんとした置ける場所とかあんまりなくて、なのでもう少し設置していただければ嬉しいです。

●市長

はい、頑張ります。今年かな？去年の10月まで実証実験という感じで結構使われているから、実は倍くらいにしたんですよ、あれでも。今でも、でもまだ足りないよね。今100台あるんだけど、もうなんか1000台くらいにしたらと正直思っていて、本当につくチャリだけで移動できるくらいに、どこに行ってもつくチャリがあるみたいな状況にしないと変わんないなと思っていて、ただ、それはお金がかかるんだけどもちろん。僕はやっぱり自転車の可能性ってすごくあると思うんで、どんどん増やしていけるように、改めて担当部署に話そうと思うし、結構便利だよね、はい、頑張ります。もっと増やします。街中につくチャリしたいとずっと実は言い続けてはいるんです。ありがとうございます。

○参加者4

市長に、個人に関しての質問をしたいんですけど、選挙に関して、自分将来なりたいものって市長とか市議会とかなりたいなってしまうんですけど、その戦略とか、どういうことを行えば市長、市民にこの人いいなって思わせ、思ったりとか。

●市長

なるほどね、どういうふうに思ってもらえるみたいな。

○参加者4

そうですね、この人に投票しようかって。

●市長

なるほど、僕が聞きたいくらいだけど。多分市議会議員と市長って結構、そもそも違うし、国会議員も全然違うし、やり方は、多分その選挙によってそもそも変わってきますよね。絶対変わらないのは、共通してるのは、まず自分がなぜその市長になりたいかとか議員になりたいかとか、国会議員になりたいのか、市長になりたいのか、市議になりたいのか、それ全て、なりたいよりも先に何をしたいかがあるべきだと思うんです。僕は例えば市議会議員になった時も、やりたいことがあったし、市議会議員をやる中で、これはもうこのままじゃまちがやばく

なると思って、市長としてやりたいことがあったから市長になって、それを一生懸命伝えました。一生懸命伝えたいし、そういう言ってみれば地域とかの活動とかもやっていたので、僕を応援してくれている人たちがそれなりにいたっているんです。だから、一番多分選挙で大事なものは、自分が何を、その仕事に就いてやりたいかで、その自分がやりたいって気持ちに対して、自分の応援してくれる仲間の人たち、周りの5人くらいの人でいいから、本気で、「じゃあ応援するよ」と、「もう仕事休んででも応援するよ」みたいに自分を心から応援してくれる人を、最初5人は大変かもしれないから、3人でもいいから見つけれることが一番だと思います。逆に周りの自分の信頼する3人も全然動いてくれないようだったら、それはやっぱり厳しいよねっていう話だと思うから、それは人を動かすのは、僕はやっぱり想いだと思うので、情熱を持って何をしたいんだっていうことを言うことと、そしてそれを今できることを、別に議員にならなくてもね、できることは沢山あるから、日頃から実践をしていけば、あ、じゃあお前はやった方がよいよっていう風になってくるんじゃないかなと思いますね。僕の書いた本があるんで、良かったら、図書館にもあると思うんで、良かったら読んでみてください。

○参加者 7

さっきの質問に関連するんですけど、選挙の時に一番大変だったことってなんですか。

●市長

誹謗中傷デマ。つくばって結構、あんまりこういうこと子供の前で言うのが良いのか分からないんだけど、ひどいんですよ、政治は。Youtubeとかでも完全なデマの広告とかをすごくしつこく流したりするわけですね、デタラメなことを書いたチラシとかを、何週も撒かれるわけですよ。なんか僕がこんなひどい市政をやっているとかね、別に良いんだけど、結局それ信じちゃうんだよね、それ見ると。本当デタラメだから。反論のチラシも出すわけですよ。あまりにもひどいから。だけど、悪い噂の方が広まるの早いからね。選挙ではそれはすごく苦労しました。五十嵐さんのせいでつくば市の財政超やばいんでしょ、とか。五十嵐さんになってから役所の人めちゃくちゃ増やしててすごくやばいんでしょ、とか。そういうのを信じちゃうわけなんですよ。でもそういうデマを言ったもん勝ち、そしてそういう、言ってみれば僕を、僕が市長になったことで今まで、そういう言葉を使って良いのか分からないけど、利権が色々、利権と呼ばれるいろんなお金の旨味があった人達がそこから排除されちゃってるわけですよ。そうい

う人からすると、僕みたいに公平にやってる人は、とにかく潰したくてしょうがないわけ。そういうグループがいろいろ今回、去年選挙あったんだけど、ひどいもんでしたね。僕は全然、僕の心がどうなるとかはないんだけど、その否定をするのは大変だよね。正しい事実を説明、でも事実を説明すれば皆分かってくれる。なんだデマだったのか。でもそれが今、どんどん SNS の時代になって、これから加速していったらうのは間違いないですね。ちょっとそのああいうふうには下品な誹謗中傷とかデマの動画とか、デマのチラシとかそういうものがね、選挙では許される、本当は良くないんだけど、なんかもう選挙は何でもアリみたいな、しかも政治家は何言われても仕方ないみたいな、あるわけですよ。その空気は良くないなと思います。辛かったとかじゃないけど、選挙でそれは苦勞する材料にはなるかなと。何しろね、相手はお金があるので。ばんばんやってたわけですよ。あんまり前向きな話じゃなくてね、やだね、こんな話ね。せつかく政治家になろうという人がいるのに。そういう選挙の汚い話を。僕は絶対誹謗中傷はしないし、もちろんデマも流さないし、そういうことは一切やらないんだけど。

○参加者 11

よく市長さんその、TSUKUBA って書いてある T シャツよく着てるんですけど、どこで買えるんですか。

●市長

ありがとうございます。これはね、ネットで買えますよ。お店でいうと、筑波大学のそばに、桜なら近い？テクノパーク桜から近いや。あのね、後でサイトを送ります。メールか何かで。Tsukuba Place Lab っていうテクノパーク桜にここから行く途中にある。ちょっと説明が難しいけど筑波大学のそばにあるので。いろんなパターンがある。白いのとか、僕はこればかり着てるんだけど、これは市で作ってるんじゃないで民間の人が作っているんで、結構ね、良い。(市長調べ中) あれ。ちょっとね、後で出してくれると思う。

○秘書課長

しびつくばわ一の、共有するようにします、メールで。

●市長

うん、いろいろあるからぜひ着て。皆で。僕はこれ夏は制服だと思ってる。これを着てるので、どんどん PR をしていこうと思います。ありがとうございます。